

国スポ運営 支援組織検討



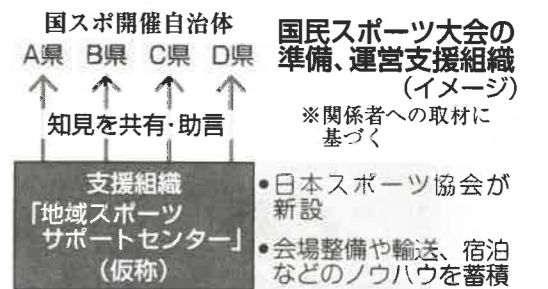
国民スポーツ大会「SAGA2024」の総合開会式で出場する本県選手団＝2024年10月、佐賀市

ノウハウ蓄積 自治体負担軽減

国民スポーツ大会(旧国民体育大会)の改革に際し、日本スポーツ協会が開催自治体の準備、運営を支援する新組織「地域スポーツサポートセンター」(仮称)を新設する検討に入った。運営ノウハウを蓄積して開催地と共有し、自治体側の負担軽減を図る。改革案を議論している日本スポーツ協会の有識者会議が、3月にまとめる提言に盛り込む見通し。複数の関係者が22日、明らかにした。

1946年に始まった国スポは原則として各都道府県の持ち回りで行われ、毎年異なる自治体が運営を担う。関係者は「毎回、ゼロからのスタートになっている」と指摘し「あらゆる業務を一元的にサポートする組織があれば効率的だ」と語った。一部の知事からも要望が出ていたという。

国スポは原則5年前に開催が内定するが、約10年前の段階で内定に当たって「開催申請書提出順序」の「プロセス」があり、準備は長期に及ぶ。会場整備や宿泊、輸送の手配、競技運営、



関係者によると、サポートセンターは日本スポーツ協会が主催する大会の視察など、業務は多岐にわたる。開催自治体が担当部局を設けて対応するケースが多い。

国民スポーツ大会改革 昨年4月、全国知事会の会長を務める宮城県村井嘉浩知事が、開催地の過大な負担を理由に「廃止も一つの考え方」と言及し、見直しの議論が本格化。全国知事会は財政負担軽減などを求める意見書を同8月に日本スポーツ協会へ提出した。日本スポーツ協会は有識者会議を設けて改革に乗り出し、来月10日の第3回会合で提言をまとめる。各競技の実施時期を分散する通年開催が軸となる見通しで、トップ選手の参加を促進し、開催地の宿泊や輸送の負担軽減を図る。

福井中3殺害再審 3月6日初公判

前川さん 潔白証明なるか

1986年の福井中3殺害事件で懲役7年が確定、服役した前川彰司さん(59)の裁判をやり直す再審公判が3月6日、名古屋高裁金沢支部で開かれる。逮捕後、前川さんは否認したが、関係者が「血の付いた前川さんを見た」などと供述。司法判断も「シロ」「クロ」と二転三転してきた。検察は再審公判で新たな証拠は出さないとしており、無罪の公算が大きくなっている。即日結審の予定で、判決は7月ごろに言い渡される見込み。

司法判断、二転三転

事件が起きたのは86年3月。女子中学生11当時(15)が福井市内の自宅で殺害された。指紋など犯人を示す直接的な証拠はなく、捜査は難航。県警は約1年後、周辺捜査などから前川さんを逮捕した。

前川さんは一貫して無実を訴え、司法判断は割れた。90年の一審福井地裁判決は「関係者の供述はいづれも信用しがたい」と無罪としたが、95年の二審高裁金沢支部判決は「供述は十分信用できる」と逆転有罪に。最高裁も支持し、確定した。満期出所後、前川さん

供述誘導の疑い濃く

福井中3殺害事件を巡り、再審開始を認めた昨年10月の名古屋高裁金沢支部決定は、捜査機関による供述誘導など、いくつもの深刻な問題を指摘し、厳しく批判した。再審公判の審理を通じ、なぜこうした問題が起きたのか、背景の一端が明らかになるか注目される。

前川彰司さんは逮捕後、事件への関与を否認。犯人を示す直接的な証拠はなく、検察側は知人ら

の供述を有罪の根拠とした。高裁金沢支部決定は、このうち「テレビ番組の

あるシーンをみている時に呼び出され、服に血の付いた前川さんを見た」という知人供述を根拠としており、前川さん弁護団の吉村悟弁護士は「非常に残念だが、影響なしに判決が出るだろう」と語った。

第2次再審請求で新たな開示された証拠によって、警察がテレビ局に問い合わせ、事件当日にはこのシーンが放送されていたことが判明。検察はこ

報酬引き下げで

収益が減少75%

県民医療連アンケート
県民主医療機関連合会(県民医連)などは22日までに、県内の訪問介護事業所に対し、基本報酬引き下げに伴う経営への影響を尋ねた。

「経営状況がどう変わるか」との問いには、「悪化する」が52・3%、「事業継続が難しくなる」が36・4%で、合わせて9割近くに上った。

基本報酬については、「今年度中に改定前に戻してほしい」が61・4%、「3年後の改定時にアップしてほしい」が38・6%で、現状維持を望む事業所はゼロだった。

「竹島の日」20回式典

島根知事、政府交渉士張する竹島(島根県隠岐の島町、韓国名・独島)の問題解決に向けて、同県は22日、条例で定めた「竹島の日」に合わせ20回目の式典を松江市で開催した。丸山達也知事は「韓国が竹島を不法占拠してから70年以上がたった」と指摘。「領土問題は国家間の問題で、政府レベルの話し合いが不可欠だ」と外交交渉による解決を訴えた。

また県として、「竹島の日」の閣議決定や政府主催の式典開催を要求してきたとし「政府の取り組みが速やかに実行されるよう引き続き強く求める」と強調した。

政府代表として出席した今井絵理子内閣府政務官は

ことしの交通事故

	21日	合計	前年比
発生(件)	6	374	- 32
死者(人)	0	6	- 1
負傷(人)	6	412	- 40

ねたアンケートの結果を公表した。昨年4月の報酬改定後、収益が減少した事業所は75・0%に上った。変わらないのは15・9%、増加したは9・1%だった。

訪問介護の基本報酬は本年度から2・3%引き下げられた。アンケートは394事業所を対象に昨年9～10月に実施。44事業所が回答し、回答率は11・2%だった。



再審開始を認めた名古屋高裁金沢支部の決定を受け、記者会見する前川彰司さん(中央)ら＝2024年10月、金沢市

前川彰司さんを巡る捜査や裁判の問題点

- 「テレビ番組を見ている時に呼び出され、服に血が付いた前川さんを見た」という知人供述
- 警察は事件当日知人供述のシーンが放送されていないことを把握。検察も誤りを隠し、公判続行
- 前川さんが犯人と最初に打ち明けた知人の供述
- 知人は別事件で取り調べを受けていた。自身の利益のため虚偽供述した可能性